

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年6月21日(2024.6.21)

【公開番号】特開2023-15478(P2023-15478A)  
 【公開日】令和5年2月1日(2023.2.1)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-020  
 【出願番号】特願2021-119275(P2021-119275)  
 【国際特許分類】  
 A 6 1 B 3/032(2006.01)  
 【F I】  
 A 6 1 B 3/032

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和6年6月13日(2024.6.13)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼に視標を呈示するための視標呈示装置であって、  
 前記被検眼の検査に用いる検査視標の視力値の表示形式を、操作信号に基づいて設定する形式設定手段と、  
 前記形式設定手段が設定した前記表示形式で表される前記視力値に基づいて、前記被検眼に呈示する視標を出力する出力手段と、  
 を備えることを特徴とする視標呈示装置。

【請求項2】

請求項1の視標呈示装置において、  
 前記被検眼の検査に用いる前記検査視標は、異なる視力値を有する複数の視標を含み、  
 前記表示形式に基づいて、前記複数の視標の前記視力値を所定のステップに設定するステップ設定手段と、  
 を備えることを特徴とする視標呈示装置。

30

【請求項3】

請求項2の視標呈示装置において、  
 前記所定のステップを、操作信号に基づいて、前記所定のステップとは異なるステップに変更するステップ変更手段を備えることを特徴とする視標呈示装置。

【請求項4】

請求項1の視標呈示装置において、  
 前記被検眼の検査に用いる前記検査視標は、異なる視力値を有する複数の視標を含み、  
 前記表示形式で表すことが可能な前記複数の視標の前記視力値を、操作信号に基づいて、任意のステップに設定するステップ選択手段を備えることを特徴とする視標呈示装置。

40

【請求項5】

請求項1～4のいずれかの視標呈示装置において、  
 前記表示形式で表される新たな前記視力値をもつ視標を、操作信号に基づいて追加する視標追加手段を備えることを特徴とする視標呈示装置。

【請求項6】

被検眼に視標を呈示するための視標呈示装置にて用いる視標呈示プログラムであって、前記視標呈示装置のプロセッサに実行されることで、

50

前記被検眼の検査に用いる検査視標の視力値の表示形式を、操作信号に基づいて設定する形式設定ステップと、

前記形式設定ステップが設定した前記表示形式で表される前記視力値に基づいて、前記被検眼に呈示する視標を出力する出力ステップと、

を前記視標呈示装置に実行させることを特徴とする視標呈示プログラム。

10

20

30

40

50